

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

<本年度の目標>

- ・町民に向けて中学校の現状について情報を発信し、身近に感じてもらえるようにしたい。
- ・SDGsにつながるような活動をしている「総合的な学習の時間」の取組を町民にも広く知ってもらいたい。また、このような活動を支えられる組織を目指したい。
- ・特色ある学校づくりの助言する立場でありたい。
- ・学校だけでなく地域の協力も得ながら、不登校支援を考えていきたい。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・基本方針についても、いじめ防止についても共通理解を深めることができた。
- ・委員の方から多くの意見があり、熟議ができていると思います。
- ・先生方の配慮もあり、終始オープンで和やかな雰囲気で会議が進められた。
- ・基本方針の説明や学校の現状からの課題についての説明を受け、学校運営に対する理解が深まり、CS委員と共有し、熟議できたと思う。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・生徒が「楽しい」「学校に行きたい」と思える学校行事や総合的な学習の時間について、話し合いや意見交換が密にできていた。
- ・個人の「主体性・考える力・表現力」を総合的な学習の今後の軸にしていくことはよいと思います。
- ・少子化に伴い、総合的な学習の探究グループを構成人数を減らすなど、現状にあった活動への話し合いができたと思う。学力面での地域サポートも検討していけるとよい。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・三中コミスクだよりの回覧があり、町民に向けた発信ができていると思う。
- ・受け止める私たち町民も活動に興味を持ち、一体となって三ヶ日中を支援していきたい。
- ・コミスクだよりの情報発信を行っており、紙面も読みやすいものになっていると思う。
- ・情報発信は行っているものの、「学校運営協議会」や「コミュニティスクール」というものの認知度が低い。ため、地域や町民にとって高い関心事にはなっていない。地域の学校として、地域一体となって支えていけるようになるとよい。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・これまでの取り組みを大切に、地域とのつながりをさらに密なものにしていけるとよい。
- ・主に「総合的な学習の時間」において地域の人材が学習に協力してくれていた。これまでの関わりとは変わってくることが予想されるが、良いつながりを今後も模索しながら協力していきたい。
- ・特色ある教育活動、教育環境に地域でバックアップできるよう、「支援・協力」について話し合っていきたい。
- ・社会教育施設を含めた外部団体と学校との協力体制の構築により、何とか不登校支援ができていけるとよい。
- ・地域防災を含め、地域の主軸となる中学生のマンパワーに期待するところが大きい。「地域の力」として育てていくことも意識したい。